



2022年6月28日

各位

会社名 株式会社ブレインパッド
代表者名 代表取締役社長 草野 隆史
(コード番号:3655 東証プライム)
問合せ先 取締役 石川 耕
(TEL. 03-6721-7701)

株式会社 TimeTechnologies の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、2022年6月28日開催の取締役会において、株式会社 TimeTechnologies の全株式を取得し、連結子会社化することを決議いたしましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

ブレインパッドは、日本国内においてデジタルマーケティングが発展し始める 2000 年代から、マーケティングを高度化・自動化するプロダクト群を扱う SaaS ビジネス（プロダクト事業）を展開してまいりました。

現在は、顧客データを統合・分析し高精度なパーソナライズを実現するトータルソリューション「Rtoaster（アールトースター）」を中心に、メールでのパーソナライズコミュニケーションを実現する BtoC 向けマーケティングオートメーション「Probance（プロバンス）」、SNS 分析に強みを持つマーケティングリサーチツール「Brandwatch（ブランドウォッチ）」など独自性の強いプロダクトを取り揃え、顧客企業のマーケティング DX を支援しております。

また、現在進行中のブレインパッドの中期経営計画（2020 年 6 月期～2023 年 6 月期の 4 年間）においては、自社の経営資源による既存事業の成長に加えて、テクノロジー企業との業務提携や投資（M&A を含む）による成長加速を、事業戦略上の重要施策と位置付けてまいりました。

ブレインパッドは、このたびの TimeTechnologies の子会社化により、同社が開発・提供する「LINE」特化型のマーケティングオートメーション「Ligla（リグラ）」（仮称、現「AutoLine（オートライン）」からサービス名を変更予定）を当社のプロダクト群に加え、以下を実現することを通じて、プロダクト事業の成長を加速させてまいります。

(1) 日本国内の強力なマーケティングチャネルである「LINE」への対応拡大

「LINE」アプリの月間アクティブユーザー数は 9,200 万人以上と公表されており(*1)、「LINE」は日本国内でマーケティングを行う際の最重要チャネルの一つと言えます。

日本国内のデジタルマーケティング市場にて近年そのシェアを拡大する海外製品は、「LINE」を活用したマーケティング施策の対応に限りがあるため、当社が「Ligla」を取り扱えるようになることは他製品に対する優位性の獲得に繋がります。

(2) 「Rtoaster」を中心とした製品ラインナップが拡充、顧客の認知・獲得から CRM までをフルカバー

「Ligla」が当社のプロダクト群に加わることにより、Web、アプリ、メールに加えて「LINE」を含む幅広いチャネルでの統合的なマーケティング施策の実行が可能となります。

また、「LINE」を活用した施策は顧客獲得にも強みを発揮するため、当社のプロダクト群を活用することで、顧客の認知・獲得からリテンション(*2)までの全ての施策を実施できるようになります。

今後は当社「Rtoaster」の強みである顧客データの統合データ管理、卓越したレコメンドアルゴリズムと連携・融合させることにより、幅広いチャネルにおけるデータを起点としたきめ細やかなマーケティング施策が実行できるソリューションに強化してまいります。

(3) 両社の顧客基盤の融合による事業シナジー

「Ligla」は、2019年のサービス開始時より「LINE」を活用したマーケティング支援に特化し、卓越した機能提供と広告代理店各社との強固な連携を通じて順調な成長を続けており、年間の「LINE」メッセージの配信数は2.2億通にのぼり、エンタープライズ向けの「LINE」特化型マーケティングオートメーションとしてはトップクラスのシェアを誇ります。「Ligla」の顧客層は、当社プロダクト事業の主要顧客層とも類似しているため、両社の顧客基盤を融合させることで、各顧客に提供できるサービスの幅が一層広がります。

(*1) LINE株式会社 マーケティングソリューションカンパニー「LINE Business Guide」2022年7～9月期版 v1.3より引用。

(*2) マーケティングにおいて、リテンションは既存顧客の維持を指す。

2. 異動する子会社（株式会社 TimeTechnologies）の概要

(1) 名称	株式会社 TimeTechnologies		
(2) 所在地	東京都千代田区神田錦町 2-2-1 WeWork KANDA SQUARE		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 波戸崎 駿		
(4) 事業内容	ビジネスオートメーション SaaS の開発と運営		
(5) 資本金	17,077 千円		
(6) 設立年月日	2019年1月23日		
(7) 大株主および持株比率	波戸崎 駿	43.4%	
	石井 淳史	41.6%	
	秀島 恵理子	15.0%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績および連結財政状態			
決算期	2019年12月	2020年12月	2021年12月
純資産（千円）	17,078	58,043	97,035
総資産（千円）	23,138	100,052	154,362
1株あたり純資産（円）	17,427	59,228	99,016
売上高（千円）	29,338	200,682	332,647
経常利益（千円）	9,956	63,878	55,785
当期純利益（千円）	7,278	40,964	38,991
1株あたり当期純利益（円）	7,427	41,801	39,788
1株あたり配当額（円）	—	—	—

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	波戸崎 駿
(2) 所在地	東京都墨田区
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

(1) 名称	石井 淳史
(2) 所在地	神奈川県川崎市
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

(1) 名称	秀島 恵理子
(2) 所在地	東京都練馬区
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	一株（議決権の数：一個、議決権所有割合：－％）
(2) 取得株式数	1,153 株（議決権の数：1,153 個）
(3) 取得価額	株式会社 TimeTechnologies の普通株式 1,047 百万円 アドバイザー費用等（概算額） 3 百万円 合計 1,050 百万円
(4) 異動後の所有株式数	1,153 株（議決権の数：1,153 個、議決権所有割合：100％）

5. 日程

- ・取締役会決議 6 月 28 日
- ・株式譲渡契約書の締結 6 月 28 日
- ・株式譲渡実行日 7 月 29 日（予定）

6. 今後の見通し

本株式取得により、当社は、2023 年 6 月期第 1 四半期より連結決算に移行する予定です。

本株式取得が、当社の 2022 年 6 月期業績に与える影響はございません。本株式取得が 2023 年 6 月期連結業績に与える影響につきましては、2022 年 6 月期決算発表時（2022 年 8 月中旬を予定）に公表予定の 2023 年 6 月期連結業績予想に反映いたします。

[添付資料]

- ・2022 年 6 月 28 日公表ニュースリリース
「ブレインパッド、株式会社 TimeTechnologies の株式を取得、
LINE に特化した MA ツールをプロダクトラインナップに追加」

以上

NEWS RELEASE



報道関係者各位

2022年6月28日
株式会社ブレインパッド

ブレインパッド、株式会社 TimeTechnologies の株式を取得、 LINE に特化した MA ツールをプロダクトラインナップに追加

株式会社ブレインパッドは、2022年6月28日開催の取締役会において、株式会社 TimeTechnologies（東京都千代田区、代表取締役社長 波戸崎 駿）の全株式を取得し、連結子会社化することを決定いたしました。

ブレインパッドは、日本国内においてデジタルマーケティングが発展し始める 2000 年代から、マーケティングを高度化・自動化するプロダクト群を扱う SaaS ビジネス（プロダクト事業）を展開してまいりました。

現在は、顧客データを統合・分析し高精度なパーソナライズを実現するトータルソリューション「Rtoaster（アールトースター）」を中心に、メールでのパーソナライズコミュニケーションを実現する BtoC 向けマーケティングオートメーション「Probance（プロバンス）」、SNS 分析に強みを持つマーケティングリサーチツール「Brandwatch（ブランドウォッチ）」など独自性の強いプロダクトを取り揃え、顧客企業のマーケティング DX を支援しております。

また、現在進行中のブレインパッドの中期経営計画（2020年6月期～2023年6月期の4年間）においては、自社の経営資源による既存事業の成長に加えて、テクノロジー企業との業務提携や投資（M&Aを含む）による成長加速を、事業戦略上の重要施策と位置付けてまいりました。

ブレインパッドは、このたびの TimeTechnologies の子会社化により、同社が開発・提供する「LINE」特化型のマーケティングオートメーション「Ligla（リグラ）」（仮称、現「AutoLine（オートライン）」からサービス名を変更予定）を当社のプロダクト群に加え、以下を実現することを通じて、プロダクト事業の成長を加速させてまいります。

1. 日本国内の強力なマーケティングチャネルである「LINE」への対応拡大

「LINE」アプリの月間アクティブユーザー数は9,200万人以上と公表されており（*1）、「LINE」は日本国内でマーケティングを行う際の最重要チャネルの一つと言えます。

日本国内のデジタルマーケティング市場にて近年そのシェアを拡大する海外製品は、「LINE」を活用したマーケティング施策の対応に限りがあるため、当社が「Ligla」を取り扱えるようになることは他製品に対する優位性の獲得に繋がります。

2. 「Rtoaster」を中心とした製品ラインナップが拡充、顧客の認知・獲得から CRM までをフルカバー

「Ligla」が当社のプロダクト群に加わることにより、Web、アプリ、メールに加えて「LINE」を含む幅広いチャネルでの統合的なマーケティング施策の実行が可能となります。

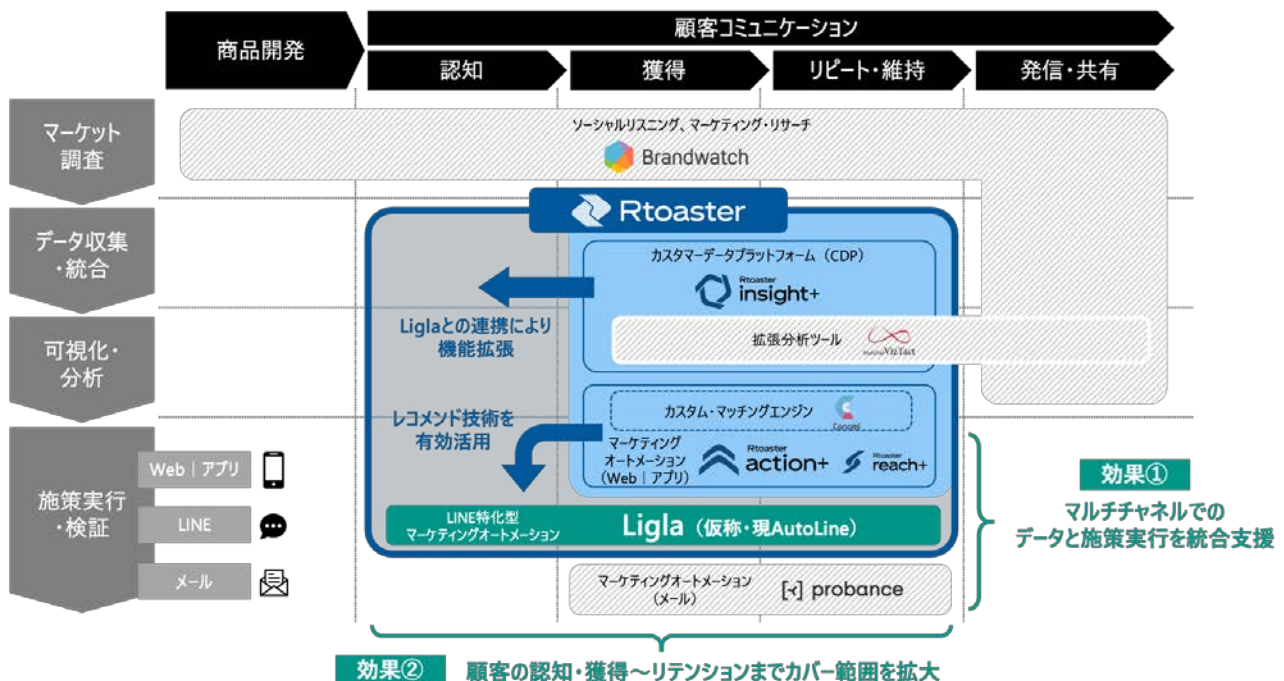
また、「LINE」を活用した施策は顧客獲得にも強みを発揮するため、当社のプロダクト群を活用することで、顧客の認知・獲得からリテンション（*2）までの全ての施策を実施できるようになります。

今後は「Ligla」を、当社「Rtoaster」の強みである顧客データの統合データ管理、卓越したレコメンドアルゴリズムと連携・融合させることにより、幅広いチャネルにおけるデータを起点としたきめ細やかなマーケティング施策が実行できるソリューションに強化してまいります。

3. 両社の顧客基盤の融合による事業シナジー

「Ligla」は、2019年のサービス開始時より「LINE」を活用したマーケティング支援に特化し、卓越した機能提供と広告代理店各社との強固な連携を通じて順調な成長を続けており、年間の「LINE」メッセージの配信数は2.2億通にのぼり、エンタープライズ向けの「LINE」特化型マーケティングオートメーションとしてはトップクラスのシェアを誇ります。「Ligla」の顧客層は、当社プロダクト事業の主要顧客層とも類似しているため、両社の顧客基盤を融合させることで、各顧客に提供できるサービスの幅が一層広がります。

● 「Rtoaster」を中心とする当社のマーケティング製品ラインナップの拡充（イメージ図）



● 株式会社ブレインパッド 取締役

プロダクト事業、プロダクトビジネス本部およびビジネス統括本部管掌 関口 朋宏のコメント

ブレインパッドが創業期より事業展開する「Rtoaster」を中心とした SaaS ビジネス（プロダクト事業）のさらなる伸長に向けて、このたび、LINE 特化型のマーケティングオートメーションツール「Ligla」（現・AutoLine）を開発・提供する TimeTechnologies 社を、当社グループに迎え入れることとなりました。

当社は、「Ligla」を、「Rtoaster」を中心とするデータを起点としたマーケティングの世界観に組み込み、当社の強固な開発体制を活かした機能開発と既存プロダクトとの連携を進めていきます。これにより、当社プロダクト事業がこれまで得意としてきた EC サイトをはじめとするオンライン事業を営む企業向けの CRM 支援のみならず、「LINE」チャネルの独自性を活かした顧客獲得領域にも支援を拡大していきます。加えて、「LINE」は店舗等のリアルチャネルでの活用も進んでいるため、リアルとオンライン、双方のチャネルを展開する企業に対しても「Rtoaster」事業を展開し、チャネルを超えた統合マーケティングの実現を支えるサービスへと進化してまいります。

ブレインパッドは、本件を通じて国産のデジタルマーケティングサービスならではの独自性と支援体制を強化し、多様化する企業のマーケティング課題に一元的に応えられる存在として、加速する国内のマーケティング DX に貢献していきたいと思っております。

(*1) LINE 株式会社 マーケティングソリューションカンパニー「LINE Business Guide」2022 年 7～9 月期版 v1.3 より引用。

(*2) マーケティングにおいて、リテンションは既存顧客の維持を指す。

■ご参考情報

●株式会社 TimeTechnologies について <https://timetechnologies.ltd/>

本社所在地：東京都千代田区神田錦町 2-2-1 WeWork KANDA SQUARE

設立：2019 年 1 月

代表者：代表取締役社長 波戸崎 駿

資本金：17 百万円（2022 年 4 月 15 日現在）

事業内容：ビジネスオートメーション SaaS の開発と運営

●株式会社ブレインパッドについて <https://www.brainpad.co.jp/>

（東京証券取引所 プライム市場：証券コード 3655）

本社所在地：東京都港区六本木三丁目 1 番 1 号 六本木ティーキューブ

設立：2004 年 3 月

代表者：代表取締役社長 草野 隆史

資本金：597 百万円（2022 年 3 月 31 日現在）

従業員数：449 名（2022 年 3 月 31 日現在）

事業内容：データを活用して企業の経営改善を支援するプロフェッショナルサービス、プロダクトサービス

■お問い合わせ先

●製品・サービスに関するお問い合わせ

株式会社ブレインパッド

TEL：03-6721-7002 e-mail：info@brainpad.co.jp

●本ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社ブレインパッド

コーポレート本部 総務部 広報担当

TEL：03-6721-7701 e-mail：marcom@brainpad.co.jp

*本ニュースリリースに記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

*本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。

以上